

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	10,000千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
④ 指標 (C)	浸水対策事業実施件数率	各年度末の事業実施件数率(事業実施件数/期間内の事業実施総件数)	成果	%	計画値	20	40	60	100
					実績値	20			

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)

(再掲)	事業の対象	事業の目的
	浸水実績のある区域	浸水被害が発生した実績のある区域の浸水対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	推奨する短期計画の浸水悪化の低減は、当路線を東西2系統に振り分けることでそれぞれの流量減少を図るが、当路線は、エコー駐車場東側に新たな計画路線が必要となり、代替流下先は民有地のため、新規水路の整備用地の問題を解決できることが条件となる。よって、民有地である地権者との用地交渉及び協力が必要となる。また、今後、交付金対象として予定している整備工事までに流域関連亀山市公共下水道事業計画における東御幸排水区の事業計画の変更認可が必要となる可能性がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの	令和6年度以降で対応するもの
	基本設計に基づき、水路整備範囲を決定し詳細設計の発注準備及び地権者との用地交渉等を進めるとともに、水路整備事業に係る交付金受入に向け事業計画の変更認可が必要となった場合、三重県と調整を実施する。また、用地買収及び事業計画の変更認可を含めた主要事業の変更を行う。	詳細設計箇所の事業実施に向け関係機関との調整、事業計画の変更認可等の手続きを進める。また、用地買収が必要な箇所についての手続きを併せて実施。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定				
事業展開	継続(現状維持)				

1次評価者	建設部 土木課 河川流域GL 村田 和隆
最終評価者	建設部 土木課長 山内 光広